とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1カ月200円　1カ年前納2、000円

活氣づくか鉄道新線

公団支社長が来町

新年早々の九日に日本鉄道建設公団北海道支社から景沢支社長らの一行が足寄町を訪れて、白糠線と阿寒線の分岐点となる茂ラワン地区と北十勝線が足寄市街に入る予定の美盛地区などの現地視察をしました。

なにしろ国鉄新線を三本もかかえて二十五年がかりで建設運動にとりくんできた足寄町としては、五年前にようやく白糠線の足寄口着工にこぎつけたものの、おりからのローカル赤字線廃止のカケ声に押されて工事は中止となつて新線建設は心細いものとなつていましたが、昨年になつて北十勝線の建設費が従来の五倍の一億円が認められて陽の目をみることになりました

これは千歳～新得間の石勝線がいよいよ明年秋には開通、開業のはこびになつたのにともなつて、これに接続する新得～足寄間の北十勝線の着工が日程にのぼつてきたもので、国鉄道総局と公団道支社では十一日着工認可の段階にすすめたそうで、このうえは足寄でゆきどまりにはできず、足寄から白糠への白糠線、足寄から津別への阿寒線は美幌～網走への道東内陸観光ルートとして脚光をあびることになりそうです。

というのは、昨秋いらいの石油ショックによる産業生活の一大転換期を迎えて鉄道輸送がふたたび交通の主役に返り咲くことになつたためで、にわかに新線建設が活気づいてきたようで北十勝線の設計も特急が通れる広軌路床に変更したといわれています。

西小の改築で論議

足寄町議会

暮の定例足寄町議会での一般質問の主な論議はつぎのとおりでした。

鳴海一郎議員　塵芥処理場の余熱を利用して大浴場やプールなどを建設する考えはないか

小林町長　意志を体して検討したい

鳴海議員　中部区画整理事業について本年は一回も審議会がひらかれていない

中央五区の排水などどうするのか

小泉建設課長　仮換地の段階で、家屋移転の問題もあり、速やかに本換地へもつていきたい、道路は逐次町道に編入して整備する

大野耕太郎議員　蔬菜栽培の奨励について本町の足寄川、利別川の流域には沖積土があり、道路網の整備から都市との時間が短縮されておりどう対策を考えているか

富田助役　普及所からも提言があり関係機関と協議して対策を考えたい

遠山謙議員　小坂山の開発は農業振興地域除外がおくれて野上電鉄不動産は計画変更を余儀なくされて、土地の切り売りにおわるのではないか

小林町長　事業は延期せざるを得ない、計画どおりは不安な点があり現在の石油危機のなかなので話し合いしていく

保障のない臨時職員に

矢野寛一議員　こんご公共事業が三〇%近く仕事の量がへる、どこにシワヨセがくるか、西小その他の教育事業はどうか

小林町長　町の県案事業に相当影響がある、老人ホームや西小の問題など大規模な事業に苦慮している

矢野議員　西小は単独でもやるのかハツキリするまで延ばすのか

小林町長　教育長から一月ころメドをつけるといつたが、いずれにしても運動公園地内へもつてゆくために両立するよう努力しており、バイパスの構想もあるので慎重に検討している

矢野議員　臨時職員の道路工夫は二十年もはたらいて身分保障をされていない給食センターもそうで、悪質な会社がやつているようなもので、ほかでは六カ月で正職員にしている、給食センターは年間稼働日数が足りないのはあの人たちのセイではない、日数をふやしたらどうか、どうするか

富田助役　年間三百日以上の勤務日数がなければ無理がある、仕事の実態がそうであり本人と合意のうえこうしている、道路工手十三人は春から秋までで内六人は再雇傭している

矢野議員　なつとくしている雇傭関係というが自治体として問題がある、仕事をみつければよい、採石も道路に関係がある

富田助役　採石は別に雇傭している

矢野議員　労働者の身分を保障していない、相手が阿部俊夫議員　白ろう病の対策で医師五名が検診されたが、六十名が受診してうち三十名がかかつているというがどのような結果か療養できるよう町独自で準備してほしいがどうか

富田助役　非常に高い罹患率で驚いている、北大から五十六名の患者の検診結果報告書が参り、労働基準監督署で労災認定をうけ治療設備の関係は北大と釧路労災病院だけなので関係機関と協議して具体化したい

学園都市の政治責任は

湯浅議員　学園都市の調査委託に百万円を計上したがどうなつたか、誘致について足が地についていない上京してもただ連絡するくらいで一係長の報告にすぎない、東京で足寄はダメだという、火のないところに煙りは立たない、立地条件は足寄が一番悪いという、路湿原と打ち出された国家的大事業で、万一期待に反する結果となるかもしれないが、阿寒地区がはずされていない、その根拠は相手のあることで申しあげられない、政治責任でかりに町長をやめなければならないとすれば町長の首がいくつあつても足りない

いわないからでは自治体としていけない

富田助役　おおむね三百日以上と考える、合意を得て雇傭契約をしているがこんご充分検討する

湯浅議員　政治責任は当然で、運動の中味が誤つていては右、左となる、どこに確信をもつものがあるのか

小林町長　大野会長（阿寒町長）と各方面へ連路した、出どころは町長を信頼して頂きたい、調査委託は大原畜大学長に期成会として学園都市の構想などをお願いした

湯浅議員　学者の専門的な立場であの地区は適当との判断が出ているか

小林町長　研究学園都市の意義、立地条件と設定理由、構想などの項目で学者的感覚で適当であると述べられている

富田助役　四月に知事が認可した運動公園を変更しなければやれない、新しい敷地と現在の西小の規模をもう少しつめてみて素案をつくらなければ道へ上げられない、道のなつとくする計画をすすめている

湯浅議員　教育長は十月十八日の時点で土地があるので素案を出したのか

岡教育長　理想的なものを町へ提出した、土地の利用は運動公園の一部訂正で併用すれば西小は設置できる、議会が不採択の状況下で決定と申しあげられないが可能性を見出した

湯浅議員　教育委員会では道へ相談したことがあるか、理事者と案をもつて打ち合せしたか

富田助役　十月十八日に教育委員会から両立可能との案があつたので検討している

（第二面へつづく）

おくれる小坂山の開発

湯浅議員　小坂山の観光開発について野上電鉄は早くしたかつたがこういう時代に突入した、行政的にどういう配慮をしていくつもりか、議決をし契約をしてこんにちに至つている、この観光開発を町民は待ち望んでいる、手順がおくれ相手側への償いをどうするか年次計画のおくれが最終的にとり返しがつくのか、損害をどうするか

富田助役　処分の条件である農業振興地域の解除につきただちに作業に入つたが一定の縦覧期間があり、混牧林なので支庁長の権限だが道の審査に時間がかかつている、農振解除の場合に本契約となるのでお互いに求償はしないことになる道が認可に必要な裏付資料を提出して解除に努力している

湯浅議員　西小の改築は教育長は近く結論を出すとの答弁だが、教育委員会では何回も測量した結果、土地はあるが周辺が運動公園であるために手をつけることができない、道の都市計画課へ手を打つといつたが理事者は一度もいつていない、土地があれば建てられるのではないか

国のうちそと

あなたはどうしますか

◆新春七日からの田中首相の東南アジア諸国歴訪の旅はどこへいつても嫌われどうしだようで、その理由は、暮の国会でしつこい野党側の質問にハラを立ててヤケ酒をあおつたのが原因で顔面神経炎にかかつてヒン曲つた田中首相の顔つきではなくて、あくどい日本企業の進出ぶりが各国とも非難、攻撃の的でした。

◆金もうけのためには手段を選ばない日本の大資本は自民党政府と結びついて東南アジアへの経済侵略に猛威をふるつているのは事実で、太平洋戦争のあと始末として迷惑をかけた各国にたいする賠償や援助や借款というものが各国人民の福祉や産業の振興に役立つているのなら田中首相は感謝、歓迎をうけた筈なのにその実態はこの日本国民の血税が賠償その他の美名によつて現地の腐敗政権と日本の保守政治家と大資本の喰いものにされていたので感謝するわけがないのです

◆正月早々からの異常な物価高、モノ不足は自民党の政治が大資本よりだから財界との腐れ縁を切れといつてもそれはムリなはなしで、社会党や共産党や民社党に労働組合と手を切れ公明党に創価学会と手を切れというのと同じで、それは不可能なことです。

◆資本主義体制を守つていくことを使命とする保守政党である自民党を支えるものは資本家階級であり、そのなかでも一番に力の強い巨大な大資本が自民党を支配しているのであつて、自民党総裁はいわばその使用人頭をつとめているようなもので、田中の人気が落ちれば福田でも大平でも三木でも中曽根でも資本主義体制を守つてくれればよいので、そうでなければ財界が自民党とその派閥に毎年何百億円もの政治献金をするわけがないのです。

◆これにたいして労働組合が革新政党を支持するのはその逆で、大資本が政治を支配する資本主義体制ではなく、労働者が政治を支配する社会主義体制でなければならないとしていますが自民党政府では従業員三百人以下を指すので、この地域では中小までではいかない零細業者ばかりで、これを資本家といえるどうか、農民にしても生産手段をもつていても自らが値段を決められず自らの労賃すらみられない状態におかれています。

◆これにくらべて大資本の方はモノ不足の時代になればなるほど、なにら労することなく買い占め売り惜しみで大もうけのできるわけが世の春を迎えたわけで、これが資本主義そのもの体質であつて、社会正義とか公共の福祉とかにかかずりあつていては金もうけにはならないという非道徳性こそが本質であり、この体制をいつまで保守することは一般大衆が自らの首をしめることになります。

◆そうなると農民や漁民や商工業者や知識人はどちらの体制を望むのかということで、大資本の利益をはかるべきか、労働者の利益をはかるべきかというよりも、あなたは資本家なのか労働者なのかということでかりに中小企業といつても政府では従業員三百人以下を指すので、この地域では中小までではいかない零細業者ばかりで、これを資本家といえるどうか、農民にしても生産手段をもつていても自らが値段を決められずも自らの労賃すらみられない状態におかれています。

◆これにくらべて大資本の方はモノ不足の時代になればなるほど、なにら労することなく買い占め売り惜しみで大もうけのできるわけが世の春を迎えたわけで、これが資本主義そのもの体質であつて、社会正義とか公共の福祉とかにかかずりあつていては金もうけにはならないという非道徳性こそが本質であり、この体制をいつまで保守することは一般大衆が自らの首をしめることになります。

◆ことしの夏の参議院選挙は日本の政治のゆくえを左右する―つまり自民党が政権を維持してゆけるか、あるいは野党連合に政権がうつるかを占なうひとつの転機に立つています。

◆この重大な選挙によつても依然として政府与党を支持するというのであればこのインフレ、モノ不足、公害、低福祉、教育低下、底農産価格、低賃金、交通地獄、住宅難などの現状は止むを得ないものとして自民党を責めるわけにいかないことになります。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊐久保呉服店
足寄町　T二一四八

お墓を新造、改造する方など
お気軽にご相談下さい
ただし毎月18時から20時まで　日曜は随時
吉相墓研究会
主幹　高本修司
足寄町中央五区　高本とうふ店　T二五〇五

大自然のなかの人工美
―いで湯のふるさと―
観光と保養の
♨芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

技術に生きる！
―あらゆる電気器具―
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
世界の ビクター
HIS MASTERS VOICE
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T 2642